

No.	図書番号・資料番号	タイトル	資料年代	分類	備考
1	3遺墨-A吉野-001	吉野作造書「寛而有制従容以和」		書軸	軸装1(136×45)。甥の達三に贈った書。生誕百年記念事業に合わせ寄贈。 △2016大崎市指定文化財
2	3遺墨-A吉野-002	吉野作造書「筆墨之外有主張」		額装	額装1(48×163.5)。生誕百年記念事業に合わせ寄贈。 △2016大崎市指定文化財
3	3遺墨-A吉野-003	吉野作造書「花紅柳緑」		額装	本紙1(31×58)、額1(48×63)※額装ではなく市販の額。 △2016大崎市指定文化財
4	3遺墨-A吉野-004	吉野作造書「人世に逆境は無い」	1924年6月25日	書軸	軸装1。 △2016大崎市指定文化財
5	3遺墨-A吉野-005	吉野作造色紙「人影在地仰見明月」		色紙	色紙1(21×18)。赤松克麿・明子夫妻遺品 ※蘇東坡「後赤壁賦」
6	3遺墨-A吉野-006	吉野作造色紙「法天貴真」		色紙	色紙1(21×18)。赤松克麿・明子夫妻遺品 ※『莊子』雜篇漁夫篇
7	3遺墨-A吉野-007	吉野作造色紙「先王克謹天戒臣人克有常憲」		色紙	色紙1(21×18)。落款入り。赤松克麿・明子夫妻遺品 ※『書経』胤征篇
8	3遺墨-A吉野-008	「友人知人筆跡」			折本1冊、27面。 キリスト教関係者旧蔵のサイン帳とみられる。吉野作造、海老名弾正、小崎弘道らのサイン。
9	3遺墨-A吉野-009	大正十年愛媛夏季大学講師寄せ書き	1921年8月	折本	1921年8月1日-13日今治市で開催の夏季大学の講師の寄せ。吉野作造書2枚(「日照高山」「日照幽谷」)他5名分。関連不明の書9名分同装。傷み大。
10	3遺墨-B中国-001	【色紙】張羣書「放言」第三首		色紙	色紙1(18×21) 「周公恐懼流言日…」 △2016年大崎市指定文化財
11	3遺墨-B中国-002	【色紙】張羣書「征夫詞」	1917年	色紙	色紙1(18×21)。 「征夫語征婦死生…」 △2016年大崎市指定文化財
12	3遺墨-B中国-003	【色紙】戴季陶書「漁翁詩」		色紙	色紙1(18×21)。 「漁翁夜傍西巖…」 △2016年大崎市指定文化財
13	3遺墨-B中国-004	【色紙】戴季陶書「育以生之」	1917年	色紙	色紙1(18×21)。 「育以生之教以成之…」 △2016年大崎市指定文化財
14	3遺墨-B中国-005	【色紙】丘仰飛書「楓橋夜泊」		色紙	色紙1(21×18)。 「月落烏啼霜滿天…」 △2016年大崎市指定文化財
15	3遺墨-B中国-006	【色紙】丘仰飛書「致曾國藩五首」第三首	1919年	色紙	色紙1(21×18)。 「揚鞭慷慨泣中原…」 △2016年大崎市指定文化財
16	3遺墨-B中国-007	【色紙】丘仰飛(息庵)書「陸放翁詩一絶」		色紙	色紙1(21×18)。 「秋風昨夜來…」 △2016年大崎市指定文化財
17	3遺墨-B中国-008	【色紙】殷汝驪(柱公)書「氣吞雲夢」		色紙	色紙1(18×21) △2016年大崎市指定文化財
18	3遺墨-B中国-009	【色紙】殷汝驪書「草掃千軍」		色紙	色紙1(18×21) △2016年大崎市指定文化財
19	3遺墨-B中国-010	【色紙】張繼書「道力戰萬籟」／「秋心三首」第一首		色紙	色紙1(21×18)。両面書 表「道力戰萬籟…」、裏「秋心如海復如潮…」 △2016年大崎市指定文化財
20	3遺墨-B中国-011	張繼書「秋興」第八首		その他書	和紙1(33.5×36) 「鶴唳…」 △2016年大崎市指定文化財
21	3遺墨-B中国-012	【刻書】「天衣無縫」		その他書	刻字木板1(33×92) △2016年大崎市指定文化財
22	3遺墨-B中国-013	【額書】「招隱詩」		額装	額装1(40×96) △2016年大崎市指定文化財
23	3遺墨-B中国-014	【額書】黃興とその同志たちの寄せ書き	1916年5月頃	額装	額装1(40×96)、本紙は絹本。 「鋤強 黃興」ほか △2016年大崎市指定文化財
24	3遺墨-B中国-015	【額書】唐紹儀書「舒卷忘食」	1919年7月頃か	額装	額装1(40×96)。2015年度に修復 △2016年大崎市指定文化財

25	3遺墨-B中国-016	【額書】孫文書「天下為公」	1915年6月頃か	額装	額装1(本紙28×150)。2012年度に修復 △2016年大崎市指定文化財
26	3遺墨-B中国-017	馮玉祥書「到眼詩書皆雪亮」		書軸	・表木には「憑玉璋」とあり(誤記か?) ・落款、署名なし
27	3遺墨-B中国-018	馮玉祥書「束身名教自風流」		書軸	・表木には「憑玉璋」とあり(誤記か?) ・印、署名「馮玉祥贈」
28	3遺墨-B中国-019	黄興書「連翩飛処影横斜」(七言絶句)	1916年5月	書軸	・表木には「黄克強君詩 大正五年五月」とあり ・印、署名「黄興」、「吉野博士請正」 (全体)186×61cm、(本紙)142×45cm ・中国明代の文人・王綬の詩
29	3遺墨-B中国-020	唐紹儀書「翻手作雲覆手雨 紛々輕薄何須数…」(七言絶句)		書軸	・表木には「唐紹儀先生」とあり。 ・印、署名「粵東唐紹儀」、「吉野仁兄大人属」 ・杜甫「貧交行」
30	3遺墨-C他-001	吉野信次書「樹影参差月半床」	1956年	書軸	軸装1点(箱入) ・「昭和三十一年春為近江君」
31	3遺墨-C他-002	吉野信次書「愛閑静」	1937年	額装	額装1点 ・「近江君囑」
32	3遺墨-C他-003	吉野信次書「恭則寿」	1937年	額装	額装1点 ・「為米城君」
33	3遺墨-C他-004	吉野信次書「和気春風」	1941年	絹本	絹本1点(横、装丁なし) ・「和気春風 昭和辛巳初秋 信次」
34	3遺墨-C他-005	瀧田禱陰 書画讃幅	1925年	書軸	軸装1点(箱入)
35	3遺墨-C他-006	内ヶ崎作三郎書「大運自古来 旅人胡嘆哉」		書軸	軸装1点(箱入) ・「愛天」
36	3遺墨-C他-007	賀川豊彦書「夕闇の土手にのぼりて祈りけり北上流域めぐみ受けよと」	昭和20年代か	額装	額装1点(寄贈時は軸装。破損が著しく2014年修復し額装。)
37	3遺墨-C他-008	一木喜徳郎書「始」		書軸	軸装1点(箱無し) ・「始 梁舟喜徳書」
38	3遺墨-C他-009	孫文書「博愛」		書軸	軸装1点(本紙39×75cm、箱入) ・「一柱同志 博愛 孫文」 ・香港にて購入(寄贈者談)
39	3遺墨-C他-010	古島一雄書「親睦」		奉書紙	1枚 ・赤松克麿・明旧蔵資料
40	3遺墨-C他-011	赤松明書 3点		奉書紙	3枚 ・赤松克麿・明旧蔵資料
41	3遺墨-C他-012	堺利彦色紙「赤土の瘦松原の茸わらびそれに交りて生れにし我れ」	不明	色紙	色紙1(27×24)
42	3遺墨-C他-013	片山哲色紙「讃吉野作造鈴木文治功績」	1974年	色紙	色紙1(27×24)。
43	3遺墨-C他-014	内ヶ崎作三郎色紙「羊頭をかかげず清き御代の春」	不明	色紙	色紙1(21×19)
44	3遺墨-C他-015	奥村多喜衛色紙(猪狩好清宛)	不明	色紙	色紙1(27.8×23.5)
45	3遺墨-C他-016	復斎 色紙		色紙	色紙1
46	3遺墨-C他-017	千葉亀雄色紙「悠然として青山に對す我れ思ふ事無し」	1932年秋	色紙	色紙1(27×24)
47	3遺墨-C他-018	片山哲色紙「団結之威力」	不明	色紙	色紙1(21×18)。薄く折れやすい。 「為柴田君」とある。
48	3遺墨-C他-019	河上肇書幅「落葉」(贈原鼎)	1938年11月20日	書軸	・函なし。軸装 ・『河上肇全集』21巻所収「閑戸閑詠」所収の詩(五言絶句)。同24巻「晩年の日記」に記載あり。
49	3遺墨-C他-020	吉野信次書「進徳練技」	1953年	額装	・500×1470mm。 ・松洲園高等裁縫学校の第二校舎新築落成時に寄贈か。
50	3遺墨-C他-021	内ヶ崎作三郎色紙「桑麻影裏掩柴荊…」	1935年6月22日	色紙	三郡治水事業関係
51	3遺墨-C他-022	内ヶ崎作三郎色紙「秧田多種八月白…」	1935年6月22日	色紙	三郡治水事業関係
52	3遺墨-C他-023	内ヶ崎作三郎色紙「牛得自由騎春…」	1935年6月22日	色紙	三郡治水事業関係
53	3遺墨-C他-024	内ヶ崎作三郎色紙「草席縄床夜不眠…」	1935年6月22日	色紙	三郡治水事業関係
54	3遺墨-C他-025	有島武郎書「含徳之厚比于赤子」		書軸	・表木に「武郎書」とあり ・「録老子之語」
55	3遺墨-C他-026	杉浦重剛書「鉄骨氷心長養真」		書軸	・表木には「杉浦重剛先生書」とあり ・印、署名「梅窓剛」、「右詠寒梅」

56	3遺墨-C他-027	岡田起作書「山高不碍白雲飛 竹密不妨流水過」		書軸	・「岡田先生」とあり。 ・軸装されていない ・印、署名「岡田起作敬書」、「吉野博士請鑑」
57	3遺墨-C他-028	作家6名寄せ書き(鈴木林平あて、鳴子巡遊記念)	1933年8月か	書軸	(軸装)縦215×横61.5cm、(本紙)縦158×横47.5cm。箱無し、浸み、ヨレ・傷み、左軸先欠平山蘆江、長谷川伸、土師清二、甲賀三郎、松崎天民、矢沢弦月(絵)
58	3遺墨-C他-029	鈴木文治書「一苦一楽相磨練 練極成福(『菜根譚』)」		書軸	(軸装)縦189×横62cm、(本紙)縦142×横47cm。箱無し、浸み、ヨレ・傷み。 「陸奥館主人」は鈴木林平。昭和2年ころ仙台に旅館陸奥館を開業。吉野、鈴木文治、片山哲らの定宿。